



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ 地域コミュニティを核とした 天栄だからできる少人数教育

2021.6.18



教育委員会だより No.119

愛村心（I尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

ICT研修会

児童生徒一人一人にタブレット端末（iPad）が配付され、授業の中での活用が進められています。

先生方も、タブレットの操作方法やアプリケーションの使い方などについて、子どもたちに教えるため、各校ごとに研修会を開催して積極的に学んでいます。

特別支援教育研修会

6月7日（月）、村内幼・小・中学校の特別支援教育に中心になって取り組んでいる先生方と支援員さんを対象に、須賀川支援学校からお二人の先生を講師としてお招きし研修会を行いました。

子どもたちの教育的ニーズをしっかりと把握し、教職員が一体となって支援に取り組んでいくこと、自己肯定感を高めるために「大いにほめること」が大切であるというお話をいただきました。

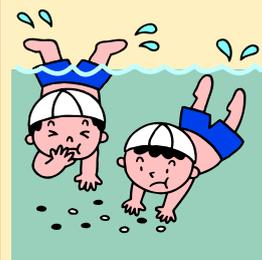
学校運営協議会（地域学校協働本部）開催

第1回の学校運営協議会を書面で開催しました。委員の皆様には、要項を読んでいただく形で、今年度の組織と活動内容、各小中学校の取り組み内容を確認していただきました。

今年度は、7月と9月に委員による学校訪問を予定しています。



プールでの学習について



天栄村立の幼・小・中学校では、今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止策、熱中症予防対策をとりながらプールでの水泳、水遊びの学習を実施します。

授業研究会 小中英語 パートナーシップ事業

5月28日（金）、広戸小学校において、県から指定を受けている「小中英語パートナーシップ事業」にも係る校内授業研究会が行われました。

授業を提供してくださったのは、5年生のクラスです。誕生日について、英語で友だちとたずね合うことがこの時間の目標でした。「月」や「日」、「いつ？」など、たずねる上で必要となる英単語や英文を、誕生日の歌を聞いたり（コロナ感染予防のため、この日は歌うことができませんでした。）ALTのゲイル先生の話す言葉をまねたりしながら、その言い方に慣れ親しんでいきました。子どもたちは、終始真剣に担任の先生やゲイル先生の話聞いていました。ペアで会話をする場面では、自分の英語が友だちに伝わると、子どもたちは満面の笑みを見せていました。



【令和3年度教科書展示会開催中】

文化の森てんえいにて、令和3年度教科書展示会を開催しています。展示しているのは小・中学校の教科書になります。

保護者、地域の方も閲覧することができますのでご来館ください。

期間：6/11～6/24

時間：午前9時～午後4時30分
※最終日は午後4時まで



生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

○ふるさと学び教室について

子どもたちがふるさとへの関心や郷土愛を育むことを目的としてスタートした「ふるさと学び教室」が6月4日（金）広戸小学校を皮切りに行われました。当日は競走馬の調教施設であるノーザンファーム天栄、県指定文化財の法燈国師座像、龍ヶ塚古墳、ふるさと文化伝承館を見学しました。ノーザンファーム天栄では調教される馬の姿にどの子どもたちも興味津々といった感じで、代表の児童が乗馬するサプライズもあり、感激していました。自分たちが住んでいる天栄村の新たな一面を見ることができました。



○「英語の村てんえい」各英会話教室が開講！

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で延期されていた今年度の各英会話教室が開講しました。

6月2日（水）は「小中学生英会話教室」、6月9日（水）は「大人の英会話教室」、6月12日（土）には「幼児と親の英会話教室」と、各世代向けの教室に多くの受講者が参加し、各教室とも終始和やかな雰囲気のもと、楽しみながら英語を学びました。ALTのゲイル先生とジョイス先生を講師として、各教室とも来年2月までの間、月2回程度ずつ開催します。



小学生



中学生



大人



幼児と親